

## 給電機能付IPカメラアダプター (PoE対応同軸モデム)

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

### EOCP10M1 (マスター<親機>)/EOCP10T1 (ターミナル<子機>)

保証書付

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

なお、工事および本製品に関するご質問は、まずはお買い上げの工事店、または設備の管理者にご相談ください。

#### ■付属品

	専用ACアダプター(出力:DC57V/1.14A) [電源コード×1本付属]	壁取付用ネジ (3.1×16mm)	MACアドレス シール(※)
<親機>	1組	2本	1枚
<子機>	別売(型番:XPEP001)	2本	1枚

※製品を個別で管理する場合に本シールを本体に貼り付けてください。

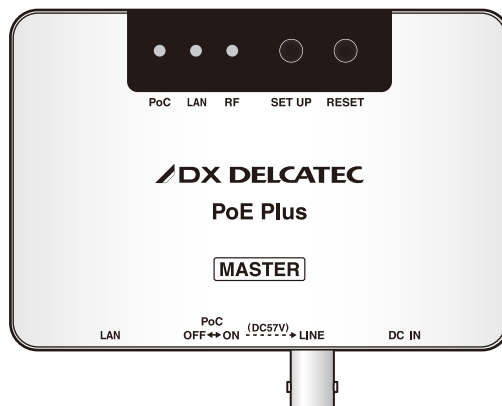
#### ■重要なご確認

下記の使用環境におきましては、故障の原因となりますので、本製品のPoC(同軸給電機能)は必ず「OFF」にしてご使用ください。

- ①テレビ共同受信設備(ブースターや分配器など)に接続してご使用になる場合。
- ②当社、高速同軸モデム(EOC10シリーズ)と本製品を同一の設備に接続してご使用になる場合。

マスター<親機>のPoC(同軸給電機能)を「ON」にすると、LINE端子(BNC端子)からはDC57Vが出力されますので、ご注意ください。

マスター<親機>/ターミナル<子機>



イラストはマスター<親機>です。

#### ■安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

**警告** 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

**注意** 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		機器の分解禁止		ぬれ手禁止		コンセントから抜く

**警告** 指定の電源で使用する

- ◇必ず付属の専用ACアダプターを使用する。他の機器のACアダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用ACアダプターはAC100V(50/60Hz)コンセントを使用する。100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

**警告** 異常があるときは、すぐに使用をやめる

次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- ◇内部に水や物が入った ◇異音が鳴る
- ◇煙がでる、変な臭いがする
- ◇マスター<親機>のLEDが3つ同時に点滅を繰り返す。
- ◇ACアダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化

火災、感電、けが、故障の原因となります。

**警告** 次の場所に設置しない

- ◇雨水などがかかる場所  
屋外で使用する場合は防雨処理を施した収納ケースに入れてご使用ください。故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所  
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所  
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所  
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中  
爆発によるけがの原因となります。

**警告** 無理な力を加えたり傷つけない  
 接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)、引っばったりしない  
 電源ケーブル、同軸ケーブル、LANケーブルなどが傷んだときは(芯線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご相談ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

**警告** 結露した状態で使用しない  
 故障の原因となります。  
 電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

**警告** ぬれた手でさわらない  
 感電の原因となります。

**警告** 水でぬらさない  
 水が入ったり、ぬれないようにする  
 火災、感電、故障の原因となります。

**警告** 分解や改造はしない  
 内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。  
 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

**警告** 雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない  
 感電の原因となります。

**注意** 定期的に点検する  
 取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。

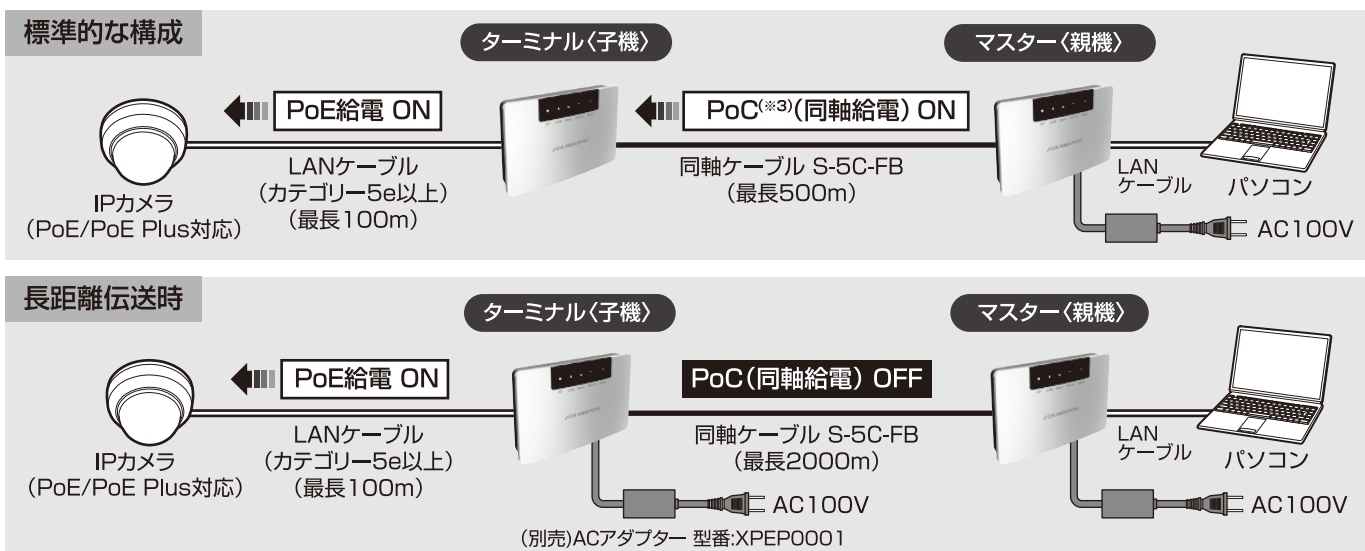
## ■電波障害に関するご注意



この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

## ■本製品について

本製品は、既設アナログカメラの同軸ケーブルを利用して、IPカメラへのリニューアルを簡単に行なえるモデムです。またPoE<sup>(※1)</sup>給電対応により、IPカメラの電源が取れない場所でも、LANケーブル経由で電源供給が可能のため、電源工事が不要です。さらにPoE Plus<sup>(※2)</sup>にも対応しており、従来のPoE給電(最大15.4W)に比べ、約2倍となる最大34.2Wまでの供給が可能です。



(※1) Power over Ethernetの略。LANケーブルに電源を重畳する技術。(※2) IEEE802.3at準拠 (※3) Power over Coaxialの略。同軸ケーブルに電源を重畳する技術。

## ■LANケーブルに関するご注意

ターミナル<子機>とネットワーク機器(IPカメラなど)を接続する場合のLANケーブルには、**標準のLANケーブル**※を使用、または購入してください。

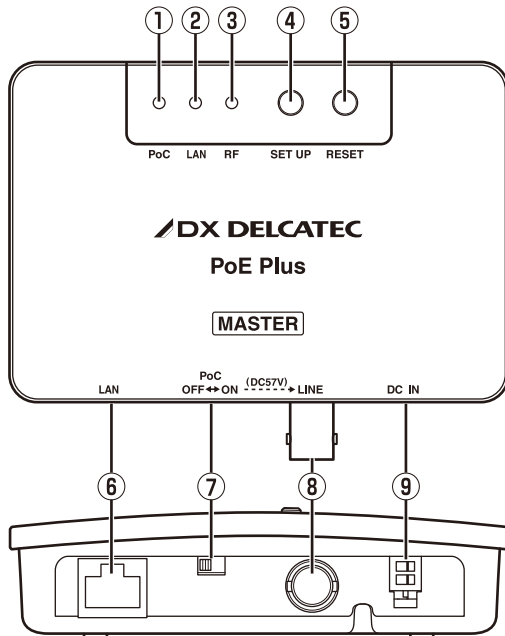
より柔軟性や、使いやすさを重視したフラットLANケーブルや細いLANケーブル、または内部の芯線が4芯のLANケーブルは使用できません。これらを使用したときには、ネットワーク機器(IPカメラなど)が正常動作しないおそれがあります。

※標準のLANケーブル：

100mの長さでカテゴリ5e以上の特性を保証できるもの(芯線1本当たりの抵抗値が100mで約9Ω以下であるもの)

## ■各部の名称とはたらき

### マスター〈親機〉



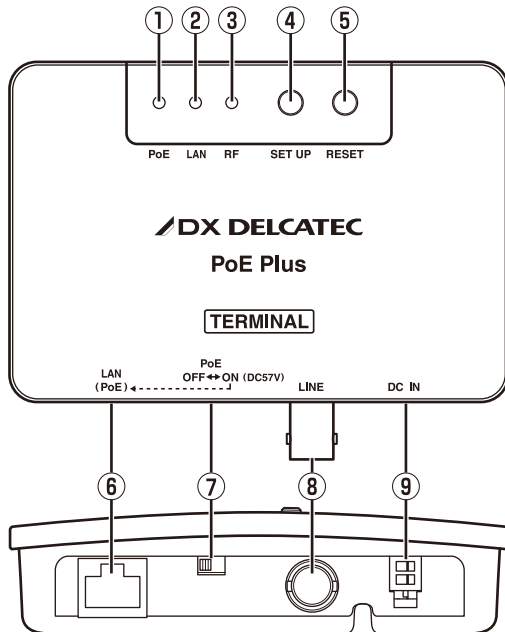
- ① PoC LED } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
- ② LAN LED } → 詳しくは「LEDの動作表示について(親機)」
- ③ RF LED } (下記)参照
- ④ SET UPボタン  
使用しません。
- ⑤ RESETボタン(通常使用しません)  
製品をご購入時の状態に戻します(2秒以上長押し)。
- ⑥ LAN端子  
LANケーブルで、本製品とネットワーク機器(パソコン・ルーターなど)を接続します。
- ⑦ PoC(Power over Coaxial:同軸給電)切換スイッチ  
ターミナル〈子機〉へのPoC ON/OFFが設定できます。  
出荷時はOFF設定です(PoC OFF:左側、PoC ON:右側)。
- ⑧ LINE端子  
データ信号を入出力する端子です。ターミナル〈子機〉と同軸ケーブルで接続します。PoCをONにすると、ターミナル〈子機〉にDC57Vを給電します。
- ⑨ DC IN端子  
付属の専用ACアダプターを接続します。

表1. LEDの動作表示について(親機)

① PoC LED	緑(点灯)	PoCがON(給電)のときのみ常時点灯します。
	緑(点滅)	LANケーブルにより相手の通信機器と接続されています。
② LAN LED	緑(点滅)	データ通信中であることを示します。
	オレンジ(点灯)	LANケーブルが接続されていません。
③ RF LED	緑(点灯)	同軸ケーブルにより高速同軸モデム(子機)が接続されています。
	赤(点灯・5秒間)	SET UPボタンを間違えて押した可能性があります。故障ではありません。(5秒後に緑色の点灯に変わります)
	消灯	ターミナル〈子機〉と接続されていません。

注)①～③のLEDが3つ同時に点滅を繰り返す場合は、故障の可能性がありますので、すぐに使用をやめてACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店または、設備の管理者に連絡してください。

### ターミナル〈子機〉



- ① PoE LED } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
- ② LAN LED } → 詳しくは「LEDの動作表示について(子機)」
- ③ RF LED } (下記)参照
- ④ SET UPボタン  
通信速度の簡易測定を行いません。  
→ 使いかたは「通信速度の簡易確認機能について」(6ページ)参照
- ⑤ RESETボタン(通常使用しません)  
製品をご購入時の状態に戻します(2秒以上長押し)。
- ⑥ LAN端子  
LANケーブルで、本製品とネットワーク機器(IPカメラ・スイッチングハブなど)を接続します。
- ⑦ PoE(Power over Ethernet)切換スイッチ  
ネットワーク機器へのPoE ON/OFFが設定できます。  
出荷時はOFF設定です(PoE OFF:左側、PoE ON:右側)。
- ⑧ LINE端子  
データ信号を入出力する端子です。  
マスター〈親機〉と同軸ケーブルで接続します。
- ⑨ DC IN端子  
マスター〈親機〉のPoC(同軸給電)を「OFF」にして利用する場合に、専用ACアダプター(別売)を接続します。

表2. LEDの動作表示について(子機)

① PoE LED	緑(点灯)	PoEがON(給電)のときのみ常時点灯します。
	緑(点滅)	LANケーブルにより相手の通信機器と接続されています。
② LAN LED	緑(点滅)	データ通信中であることを示します。
	オレンジ(点灯)	LANケーブルが接続されていません。
③ RF LED	緑(点灯)	同軸ケーブルにより高速同軸モデム(親機)が接続されています。
	赤(点灯)	故障の可能性があります。
	消灯	マスター〈親機〉と接続されていません。

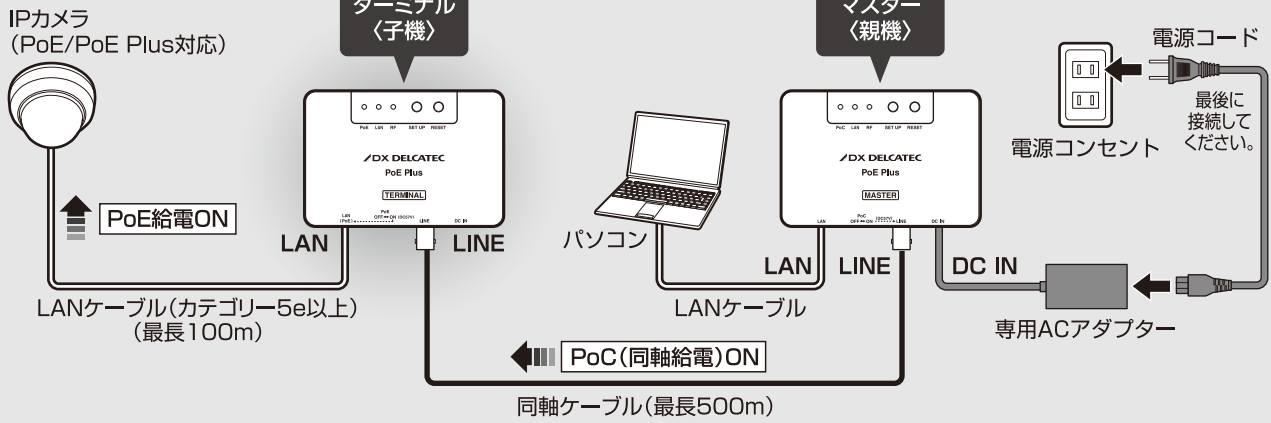
## ■ 接続手順

標準的な構成例での接続方法です。

お願い

マスター(親機)のPoC(同軸給電)切換スイッチがOFFであることを確認してください。また、専用ACアダプターと電源コードは、必ずすべての接続が終わってから、最後に接続してください。

### 標準的な構成例



必ず下記の接続手順にしたがって接続してください。

- 1 ターミナル(子機)のPoE切換スイッチを「ON」にする。
- 2 ターミナル(子機)のLAN端子とネットワーク機器(IPカメラなど)をLANケーブルで接続する。  
接続できるLANケーブル(カテゴリ5e以上)は、最大100mまでです。また、LANケーブルは4対(8芯すべてを接続しているもの)を使用してください。
- 3 ターミナル(子機)のLINE端子に同軸ケーブル(75Ω)を接続する。

#### ご注意

同軸ケーブル(S-5C-FB)を500m以上で使用になる場合、6ページの■システム応用例「長距離伝送時」の接続例をご覧ください。

- 4 マスター(親機)のLINE端子に同軸ケーブル(75Ω)を接続する。
- 5 マスター(親機)のLAN端子とネットワーク機器(パソコンなど)をLANケーブルで接続する。
- 6 マスター(親機)のDC IN端子に専用ACアダプターの電源端子を接続し、電源コードを専用ACアダプターに接続する。最後に電源コードをコンセントに接続する。

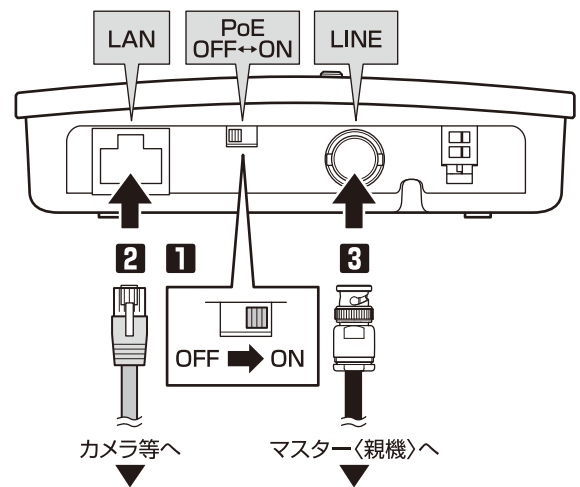
#### ご参考

専用ACアダプターの電源端子はツメが引っ掛かるまで奥まで確実に差し込んでください。また、はずす際はツメを押しながら引き抜いてください。(バチッと音がすることがありますが異常ではありません)

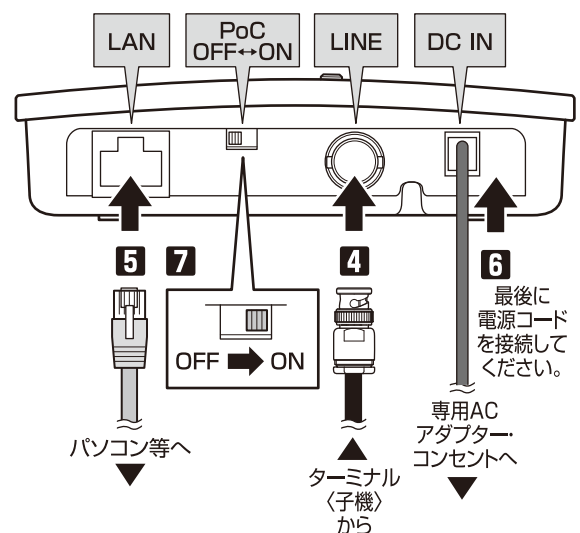
ツメ

- 7 マスター(親機)のPoC(同軸給電)切換スイッチを「ON」にする。  
ネットワーク機器により、起動するまで数秒かかることがあります。
- 8 接続している機器の電源を入れる。
- 9 マスター(親機)とターミナル(子機)の各LEDが緑に点灯(LAN LEDはデータ通信を開始すると点滅)していることを確認する。

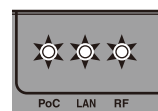
### ターミナル(子機)



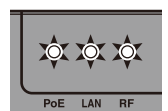
### マスター(親機)



マスター(親機)

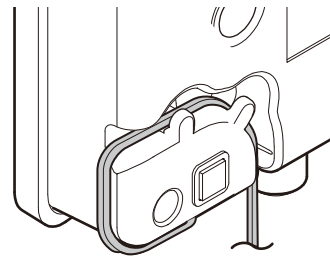


ターミナル(子機)



## ■専用ACアダプターの配線処理

専用ACアダプターのコードは電源端子の接続後、図のように背面の溝に通します。



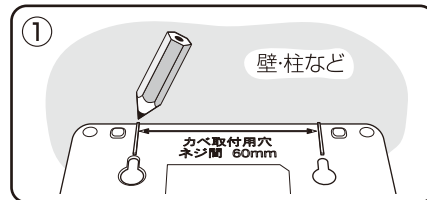
## ■取付方法

本製品は、壁にかけてお使いいただくこともできます。

取り付けには付属の壁取付用ネジ（3.1×16mm）2本をお使いください。

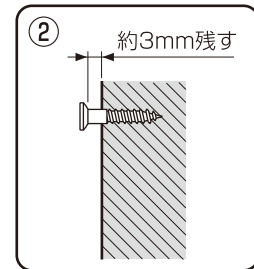
### ① 取り付ける壁面にネジ穴の印をつけます

取り付ける位置に本製品をあてて、鉛筆等で印をつけます。



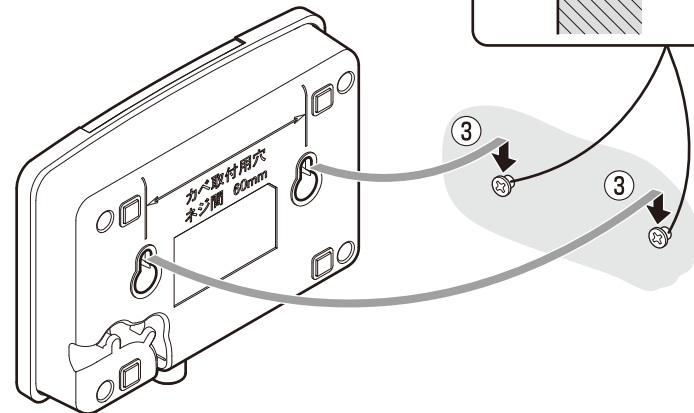
### ② 取付用ネジを取り付けます

取付面との隙間が3mm程度開くように付属の取付用ネジ2本を取り付けます。



### ③ 本製品を取り付けます

背面にある2ヶ所の壁掛け穴をネジに引っ掛け、しっかりと固定されるまで引き下げます。



## ■通信速度の簡易確認機能について（ターミナル〈子機〉のみ）

マスター〈親機〉・ターミナル〈子機〉機器間での通信速度を簡易的に測定し、確認することができます。

### 確認のしかた

マスター〈親機〉機器、ターミナル〈子機〉機器が接続されている状態で、ターミナル〈子機〉機器のSET UP ボタンを1秒以上押します

LEDが右表のように緑色に点灯し、測定結果をお知らせします。

※ PoE切替スイッチが「OFF」の場合、PoEランプは点灯しません。

※ 測定結果は実際の通信速度とは異なる場合があります。

通信状況確認のためのおよその目安としてお使いください。

☆：緑点灯 ●：消灯

LED表示	☆ ☆ ●	☆ ☆ ☆
	PoE LAN RF	PoE LAN RF
通信速度（目安）	5~45Mbps	45Mbps以上
	遅い  速い	

## ■PoE給電電力について

PoC（同軸給電）使用時のPoE給電電力は、同軸ケーブル長により異なります。また、ケーブルメーカー、ケーブル種類、施工品質、設置環境等においても異なりますので、右表の数値は目安としてください。

表A: 各同軸ケーブルの長さの目安とPoE給電電力の関係

同軸ケーブルの種類	3C-2V使用時		5C-2V使用時		S-5C-FB使用時	
同軸ケーブル長の目安	~100m	~100m以上	~300m	~300m以上	~500m	~500m以上
PoE給電電力	34.2W	給電不可	34.2W	給電不可	34.2W	給電不可

※6ページの標準的な構成の場合です。



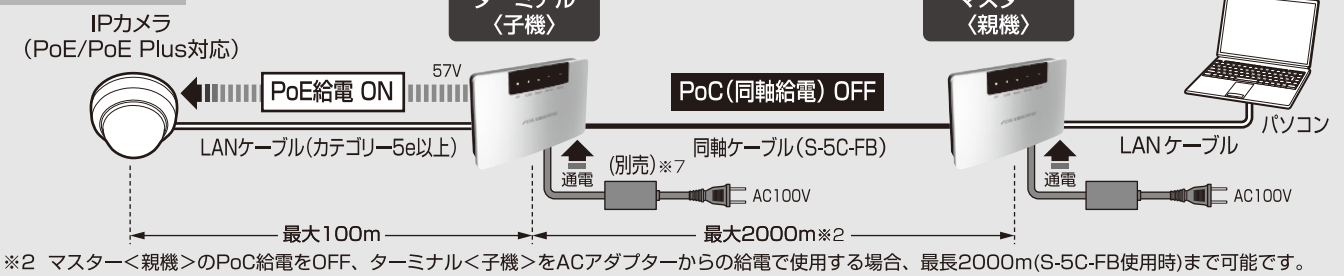
## ■システム応用例

長距離伝送や、複数台のIPカメラや子機を使った参考例です。ターミナル<子機>にACアダプター(別売)を接続して給電する場合と、給電しない場合で、使用できる同軸ケーブルの距離が変わります。

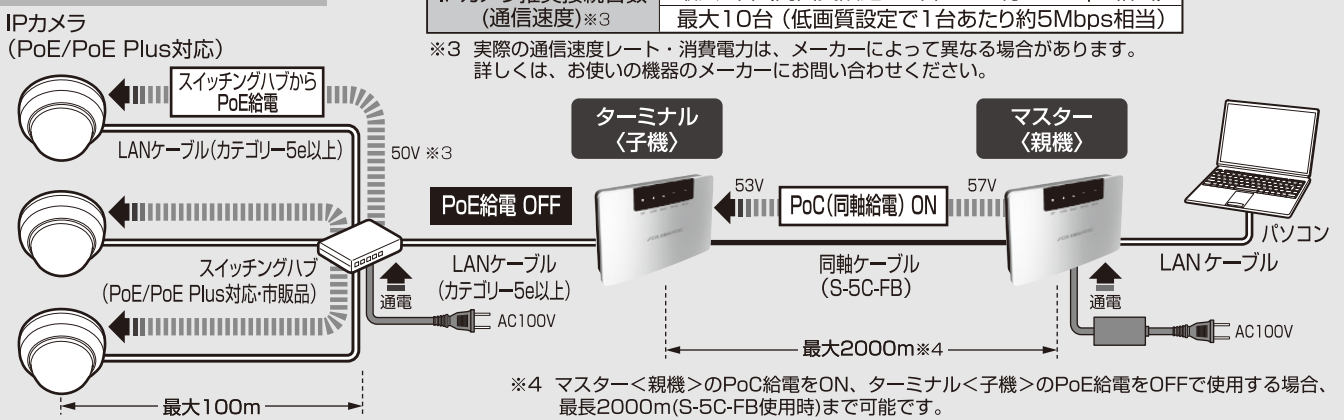
### 標準的な構成



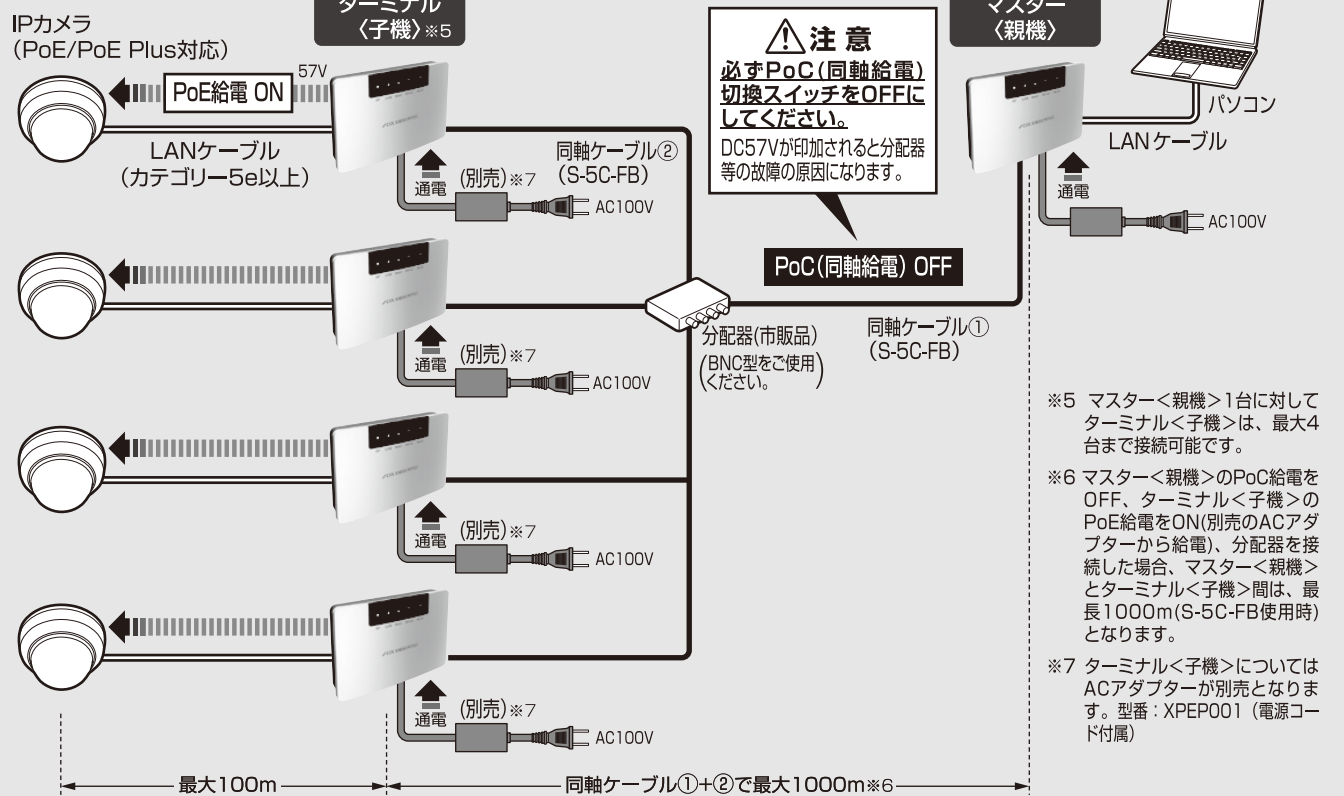
### 長距離伝送時



### IPカメラ複数台接続時



### 子機複数台構成(分配器を使用)



**同軸ケーブル接続時のご注意** ターミナル<子機>マスター<親機>のLINE端子に同軸ケーブルを接続後、接続部に力を加えるとコンタクトピンが開いて、通信が不安定になる場合があります。取扱いについては十分ご注意ください。

■故障と判断する前に 故障と判断する前に、以下の点をご確認ください。

マスター〈親機〉

症状	ここをチェック	対策・処置のしかた	
動作しない (パソコンから 画像が見えない 等)	PoC、LAN、RFの各LEDは点灯していますか?	いずれも点灯していない場合はDC IN端子に専用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。	
	専用ACアダプターは接続されていますか?	専用ACアダプターを接続してください。	
	LAN LEDがオレンジ色に点灯していませんか?	同軸ケーブルの距離が長すぎませんか?	LANケーブルをLAN端子に接続してください。
			LANケーブルが破損していないか確認してください。 接続先ネットワーク機器の電源を入れてください。
	同軸ケーブルが接続されていますか?	同軸ケーブルの長さを確認してください。 ⇒5ページの右下「表A」をご覧ください。	
	RF LEDが赤く点灯していませんか?	同軸ケーブルをLINE端子に接続してください。 同軸ケーブルが破損していないか確認してください。 故障の可能性があります。お買い上げの工事店、または設備の管理者にご連絡ください。	
通信速度が遅い	同軸ケーブルの距離が長すぎませんか?	同軸ケーブルの長さを確認してください。 ⇒5ページの右下「表A」をご覧ください。 同軸ケーブルの接触不良(コネクタ部)がないか確認してください。	
	複数台の子機が接続されていませんか?	接続する台数や環境により、通信速度が低下する場合があります。	

ターミナル〈子機〉

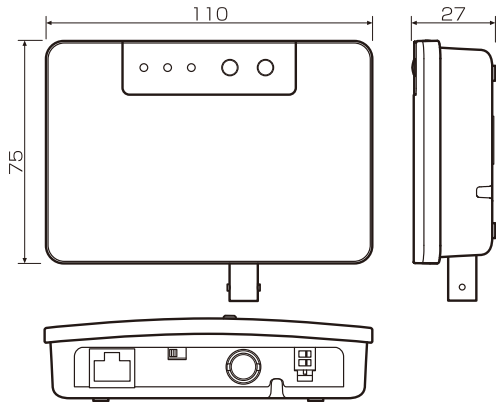
症状	ここをチェック	対策・処置のしかた
動作しない	PoE、LAN、RFの各LEDは点灯していますか?	いずれも点灯していない場合で、マスター〈親機〉のPoC(同軸給電)が「ON」の場合は、同軸ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 マスター〈親機〉のPoC(同軸給電)が「OFF」でご使用の場合は、DC IN端子に専用ACアダプター(別売)が正しく接続されているか確認してください。 接続先のネットワーク機器の電源が「ON」になっているか確認してください。
	マスター〈親機〉のPoC(同軸給電)切換スイッチが「OFF」になっていませんか?	マスター〈親機〉のPoC(同軸給電)切換スイッチを「ON」にしてください。
	同軸ケーブルの距離が長すぎませんか?	同軸ケーブルの長さを確認してください。 ⇒5ページの右下「表A」をご覧ください。
	同軸ケーブルが接続されていますか?	同軸ケーブルをLINE端子に接続してください。 同軸ケーブルが破損していないか確認してください。 マスター〈親機〉に電源を供給してください。
	RF LEDが赤く点灯していませんか?	故障の可能性があります。お買い上げの工事店、または設備の管理者にご連絡ください。
	PoE切換スイッチが「OFF」になっていませんか?	PoE切換スイッチを「ON」にしてください。
接続先のネットワーク機器が動作しない	接続先のネットワーク機器がPoE(IEEE802.af)/PoE Plus(IEEE802.at)に対応していますか?	PoE(IEEE802.af)/PoE Plus(IEEE802.at)に対応したネットワーク機器に接続してください。
	LANケーブルが4対(8芯すべてを接続しているもの)を使用するタイプになっていますか?	LANケーブルを4対(8芯すべてを接続しているもの)を使用するタイプに交換してください。 ⇒2ページの下「LANケーブルのご注意」をご覧ください。
	LANケーブルの距離が長すぎませんか?	LANケーブルの長さを確認してください。 最長100m(カテゴリ5e以上)
	LANケーブルがLAN端子に接続されていますか?	LANケーブルをLAN端子に接続してください。
		LANケーブルが破損していないか確認してください。 接続先ネットワーク機器の電源を入れてください。
接続先のネットワーク機器(IPアドレス等)の設定は済んでいますか?	設定に関しては、各ネットワーク機器のマニュアルを見て確認してください。	
通信速度が遅い	同軸ケーブルの距離が長すぎませんか?	同軸ケーブルの長さを確認してください。 ⇒5ページの右下「表A」をご覧ください。 同軸ケーブルの接触不良(コネクタ部)がないか確認してください。
	複数台の子機が接続されていませんか?	接続する台数や環境により、通信速度が低下する場合があります。

## 仕様

品名	給電機能付IPカメラアダプター (PoE対応同軸モデム)		
型番	EOCP10M1	EOCP10T1	
親機 / 子機	マスター<親機>	ターミナル<子機>	
接続端子	BNC	使用周波数帯域	2~28MHz
		変調方式	Wavelet OFDM
		最大通信速度	240Mbps(理論最大速度)
		実効通信速度	最大 95Mbps(UDP) 70Mbps(TCP)
	LAN	セキュリティ	AES 128bit暗号化
		端子数	1端子
		最大伝送距離	PoC給電ON時:500m 注1) PoC給電OFF時:2000m 注1)、注2)
登録機能	VSWR	2.5dB以下	
	通信モード	IEEE 802.3 準拠 (10Base-T、100Base-TX)、MDI/MDI-X クロス/ストレート自動認識	
基本接続構成	ポート数	1ポート	
	動作モード	自動	
IPカメラ推奨接続台数	基本	基本はマスター<親機>に対しターミナル<子機>1台	
	最大	最大4台(高画質設定で1台あたり約14Mbps相当)注3) 最大10台(低画質設定で1台あたり約5Mbps相当)注3)	
電気的特性	電源電圧	専用ACアダプター 入力AC100V 50/60Hz 出力DC57V/1.14A(電源コードを含むコード長約3.6m)注4)	
	同軸給電電圧	DC57V(LINE端子より給電) ON/OFF可	
	PoE給電電力	—	
	消費電力	最大47W(同軸給電あり/PoE給電あり)注5)	
		最大7W(同軸給電あり/PoE給電なし)注5)	
使用温度	最大3.3W(同軸給電なし)	最大45W(同軸給電なし/PoE給電あり) 最大3.5W(同軸給電なし/PoE給電なし)	
外形寸法	-10℃~+50℃		
質量	(H)75×(W)110×(D)27mm(突起部を除く) 110g(専用ACアダプターを除く)		

注1) S-5C-FB使用時で、ターミナル<子機>をPoE給電ONで使用の場合。 注2) ターミナル<子機>にオプションのACアダプター(別売)接続時  
注3) メーカーによって異なる場合があります。実際の速度レートはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。 注4) ターミナル<子機>については別売となります。型番: XPEP001(電源コード付属) 注5) 同軸給電のためマスター<親機>から見たターミナル<子機>を含んだ消費電力  
●仕様は改良により、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 外形寸法 (単位: mm)



※ EOCP10M1 (マスター<親機>)・EOCP10T1 (ターミナル<子機>)とも同一寸法となります。

※ この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。  
[1014] QRコードからアクセスしてください。

## 保証書

型番	
<input type="checkbox"/> EOCP10M1	<input type="checkbox"/> EOCP10T1
ご住所・ご店名	
電話( ) -	
ふりがな	様
お名前	
ご住所	電話( ) -
お買上年月日	保証期間
年 月 日	1年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

### ●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様の負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
  - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
  - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
  - 本保証書を提示・添付されていない場合。
  - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 製品対価以上の保証はいたしません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター  
土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。 (1908)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社  
4966-5

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)  
一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス  
https://www.dxantenna.co.jp/